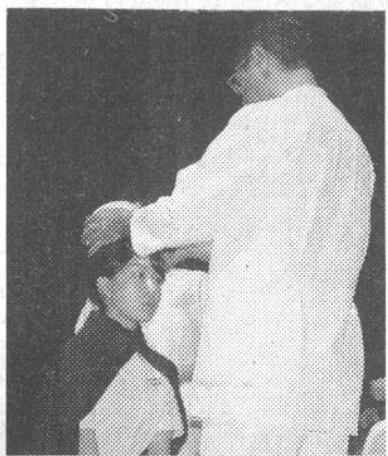


19期生81人に ナースキャップ

戸田中央看護専門学校戴帽式

戸田中央医科グループ(戸田市本町、中村隆俊会長)が運営する戸田中央看護専門学校(中村毅校長)の2014年度「戴帽(たいぼう)式」が、川口総合文化センターリア音楽ホールで行われた。戴帽式は、入学してから一定期間、座学で看護の基礎を学び、看護師の資質があると認められた学生に対し、看護の象徴であるナースキャップ

凛とした表情でナースキャップを頂く看護学生。川口市の川口総合文化センターリア音楽ホール



を与える儀式。同校では1977年の開学以来、実施している。この日は3年課程19期生81人の生徒が戴帽式に参加した。

生徒たちはナイチンゲール像を舞台の中心に、パイプオルガンの透き通った音色が鳴り響く厳粛な雰囲気の中、一人ひとり壇上でナースキャップを頂き、ナイチンゲールの心を受け継ぐキャンドルに火を灯した。

式辞で中村毅校長は「戴帽式は今一度看護師を志したときの気持ちを心に刻む大事な儀式。患者に寄り添い、心ある看護を続け、患者に希望の光を与えられる看護師になってほしい」と話した。学生たちは「人との関わり」「学び」「責任」をキーワードに誓いの言葉を合唱。凛とした姿で、看護師という夢へ向かって第一歩を踏みしめた。

(土沢貴弘)